

第2表 マダケ純林と竹木混生林との比較
(熊本郡球摩郡渡村立野境目園有林)

目通り 程周寸	1町歩当りの 立竹数		竹程の長さ m		
	純林 本	混生林 本	純 林	混生林	比 倍
3	802	16	5.96	—	—
4	1,651	39	7.20	10.56	1.5
5	2,503	64	9.64	12.21	1.3
6	2,125	76	10.61	13.08	1.2
7	1,750	90	12.55	15.03	1.2
8	1,159	105	13.22	16.01	1.2
9	582	122	14.94	17.35	1.2
10	284	75	15.80	17.86	1.1
11	14	47	17.80	18.92	1.1
計	10,870	634	(各周級から5本づつの標 準竹の平均)		
平均 (寸)	5.9	7.6			

の有効竹林には防風設備対策が甚だ必要である。

混生林の竹 竹木混生林の竹は伸びがよく材質軟かで節が低いと云われている。(第2表の調査参照)この林相下では、伸長中の筍に対して確かに防風のでもあり、又適湿(空気・土壤)であり、特に遮光の加減が丁度よいのでいわゆる黄化現象(Etiolement)のため節間がよく伸び、組織が硬化しないためと考えられ、防風が唯一の効果ではないであろう。著者はこの際に竹林作業の理論的研究の一項目として、この適度の黄化現象附与、即ち林内の微気候的条件の検討が極めて大切であることを強調するものである。

60. 拓本法による樹皮外相の研究

宮崎大学 重 松 義 則

拓本の価値 拓本とは昔から石刷と呼ばれ岩石に刻したものを墨で叩いて写しとつたもので、金工品、木製品、土陶品などに刻した文章や図像を復写したものを金石文と云うが、とにかく陰刻と陽刻とがあればこの拓本ができるのである。拓本は支那が本場で早くからその技術が発達した。例えば唐拓・五代拓・宋拓などと古い有名なものがあるが、こうなると非常に歴史・美術的価値が高く、殊に拓本があつても実物がとつてなくなつていようなものは斯界の研究家からは大変な珍重を受ける訳である。詩・歌・句の石ぶみ・偉人の墓碑・木額・刀のつば、鐘の銘・縄文土器・魚拓などに現代でもこの術が広く応用されている。拓本の効用的価値としては(1)実物について直接複写するため原寸大で絶対に偽物でない。(2)実物を亡失した際に真影を窺知し得られ、再建・復元に役立つこと。(3)遠隔地の参考資料を一室一所に所蔵し随時随所で展げて見て研究ができる。

拓本のやり方 乾式と湿式とがあり、乾拓は原物に紙をあててその上をクレオンにて擦る原始的な方法ではあるが急ぐときには好都合である。湿拓は完全な拓本としてはこれに限るもので、そのやり方は(1)原物に紙(画箋紙・美濃紙のような水を吸収し易い和紙)をあてて、(2)その上をハケで水を引いてタオルで押えて凹

凸を作り、あらかた乾くのを待つて、(3)墨汁をしませたタンポでその上をムラなく軽く入念に打つと拓本ができるのであるが練習するとやがて上手になる。

著者は樹皮外相の観察資料にこれを応用したが、写真に比して拓本も又捨て難いみ力がある。即ち(1)写真よりも樹皮の外周が広く裏まで撮れて而かも凹凸が立派に浮き出て立体感が強い、(2)彩色ができる、(3)現物標本の代用となり所蔵に便利なこと。短所としては凸が黒く凹が白く紙上に出て写真と反対なので認識を誤らぬようにすることが大切である。尚樹木学や木材識別の研究室には従来の標本の他にこの拓本も用意しておくことを希望する。

拓本法による広葉樹樹皮外相の分類(例図参照)

1. 皮目の顕著なもの
 - 1.1 縦列 アカンデ・ウラジロノキ・ヒメヤシヤブシ
 - 1.2 横列 シラカバ・ミズメ・ヤマザクラ
 - 1.3 似横列(裂地、皮目概ね横楕円) ハゼノキ・トベラ・ユズリハ・ヤマグワ・リンボク・モモノキ
 - 1.4 散点(皮目円形) ナワシログミ・ヤマグワ・コウゾ・ヤマモモ・ハゼノキ
2. 波状同心紋理顕著なもの イスノキ・ケヤキ・イ

チイガシ

3. 剝離の顕著なもの

- 3.1 鱗片状剝離 カゴノキ・カナクギノキ・カキ
- 3.2 不定形斜方剝離 バクチノキ・サルナン
- 3.3 毛羽立ち剝皮 チシャノキ・アセビ・ハマクサギ・ネジキ

4. 縦溝顕著なもの

- 4.1 縦溝網目型 ツルウメモドキ・ノリウツギ・センダンニワトコ・アベマキ・エゴノキ

- 4.2 縦溝平行型 ナンキンハゼ・ニセアカシア・オニグルミ・シオジ・カツラ

- 4.3 縦溝細皺型 シラキ・ナンテン・ミカン・ゴンズイ・ボダイジュ・ショウベンノキ

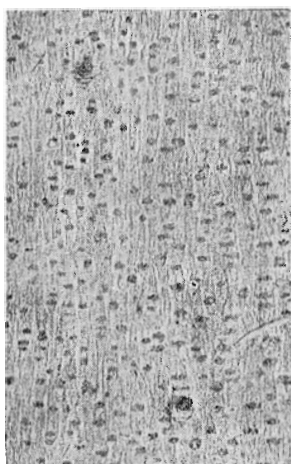
- 5. 平滑光沢顕著なもの ツバキ・ヒメジャラ・サルスベリ・イヌビワ・ミミズバイ・ブナ

- 6. 刺のあるもの カラスザンショウ・タラノキ・ハリギリ・デイゴ
-

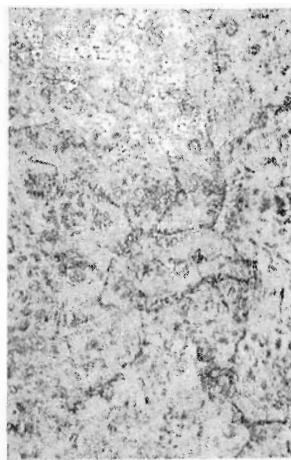
分類番号 1.2 ミズメ



1.4 ナワシログミ



2 イチイガシ



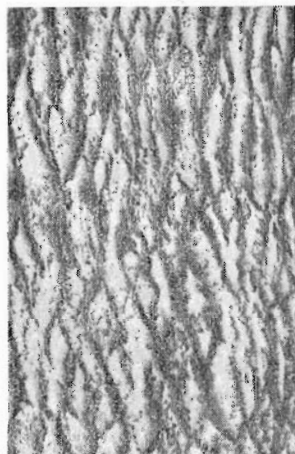
3.1 カキ



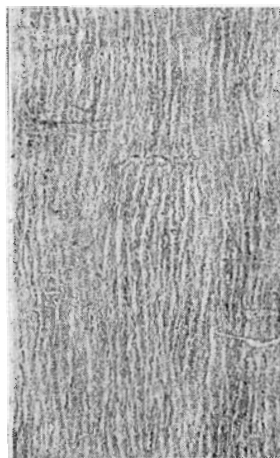
3.2 サルナシ



4.1 エゴノキ



4.3 ミカン



6 カラスザンショウ

